

忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務
公募型プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

令和4年度中の開業を目指した忍者体験施設整備事業（以下「本事業」という。）に取り組むにあたり、公民連携手法の積極的な活用により、民間資本の導入を促進し、より低廉かつ質の高い公共サービスを継続的に維持するとともに、地域経済の活性化につなげることを目指し、本事業における公民連携手法の導入に関連する諸手続きに係る資料等の作成支援など事業推進のコーディネート支援を行うための事業者を特定するにあたり、委託する業務の内容及び性質から、価格だけでなく事業への理解度、企画力、創造性等を勘案し、総合的な見地から判断することが適当であると考えられるため、公募型プロポーザル方式による審査を実施した。

2. スケジュール

2020（令和2）年4月22日（水）	第1回忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務 プロポーザル審査委員会 （以下「審査委員会」）
2020（令和2）年5月13日（水）	手続開始の公告
2020（令和2）年5月20日（水）	参加及び質問締切（3者から参加申請）
2020（令和2）年5月26日（火）	第2回審査委員会
2020（令和2）年6月10日（水）	企画提案書等受付締切
2020（令和2）年6月12日（金）	第1次（書類）審査 第3回審査委員会
2020（令和2）年6月22日（月）	プレゼンテーション及びヒアリングの実施 第4回審査委員会

3. 審査委員会

（1）忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務公募型プロポーザル審査委員会設置要綱第3条第1項に基づき、次の6名を委員とする審査委員会を設置した。

※委員長・副委員長を互選

委員長	東 弘久	伊賀市産業振興部長
副委員長	堀 久仁寿	伊賀市産業振興部次長
委員	藤山 善之	伊賀市総務部次長
委員	月井 敦子	伊賀市企画振興部次長
委員	東瀬 嘉章	伊賀市財務部次長
委員	山本 学	伊賀市建設部次長

(2) 事務局

伊賀市産業振興部観光戦略課

4. 審査経過

(1) 第1回審査委員会

- 開催日 2020（令和2）年4月22日（水）
- 場 所 伊賀市役所 406 会議室
- 欠席者 1名
- 概 要
- ・審査委員会設置要綱について
 - ・委員長及び副委員長の選任について
 - ① 確認事項
 - ・実施要領について
 - ・業務仕様書について
 - ・実施スケジュールについて
 - ② 協議事項
 - ・評価基準について
 - ・評価点について

(2) 第2回審査委員会

- 開催日 2020（令和2）年5月26日（火）
- 場 所 伊賀市役所 404 会議室
- 欠席者 1名
- 概 要
- ①確認事項
 - ・応募状況及び参加資格の有無について
 - ・質問状況及び回答について
 - ②協議事項
 - ・評価基準書（案）及び採点表（案）について
 - ・プレゼンテーション及びヒアリング審査実施要領（案）について

(3) 第1次（書類）審査

- 開催日 2020（令和2）年6月12日（金）
- 場 所 伊賀市役所 406 会議室
- 欠席者 なし
- 概 要
- ①協議事項
 - ・評価基準書及び採点表の確定
 - ・第1次（書類）審査

(4) 第3回審査委員会

- 開催日 2020（令和2）年6月12日（金）

場 所 伊賀市役所 406 会議室

欠席者 なし

概 要 ①協議事項

- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施要領の確認
- ・共通質問及び個別質問内容の確認
- ・プレゼンテーション及びヒアリング審査当日の事務分担について

(5) プレゼンテーション及びヒアリング審査

開催日 2020（令和2）年6月22日（月）

場 所 伊賀市役所 201 会議室

概 要 ①プレゼンテーション

②ヒアリング審査

(6) 第4回審査委員会

開催日 2020（令和2）年6月22日（月）

場 所 伊賀市役所 201 会議室

概 要 ①協議事項

- ・優秀者及び次点者の特定
- ・全体講評及び個別講評について

5. 企画提案書提出者【受付順】

- 1 株式会社百五総合研究所
- 2 株式会社テイコク 三重営業所
- 3 株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング

6. 審査結果

(1) 最優秀者：株式会社テイコク 三重営業所

住所 三重県津市上浜町二丁目 223 番地

(2) 評価合計点【点数順】

審査項目	配点	株式会社テイコク 三重営業所	A社	B社
実績・体制	120	73	78	77
理解	120	92	72	72
特定テーマ等に対する提案	420	299	296	236
取組意欲	60	38	40	36

見積	60	30	18	60
委員合計	780	532	504	481
減点(※)	—	▲3	—	▲3
合計	780	529	504	478
順位		最優秀者	次点者	—

※減点対象となる事象ごとに全委員の合計点から減点する。

7. 審査講評

(1) 全体講評

2020（令和2）年5月13日（水）から5月20日（水）までの期間で参加募集を行ったところ3者から応募があり、3者から6月10日（水）の期限までに企画提案書の提出があった。

6月22日（月）の審査では、企画提案書に基づき、1者あたり20分以内のプレゼンテーションと10分程度のヒアリング審査を実施し、総合的な評価を行った。

「実績・体制」①企業業務実績では、過去の実績に基づくノウハウや経験を本業務に活かせる可能性が高いかを評価し、②本業務の実施体制では、配置予定技術者が、本業務に関係する実績を十分に有しているか、業務内容や業務量に見合った実施体制となっているかを評価した。

「理解」③事業に関する理解度では、本市のまち・ひと・しごと創生の推進及び本施設の必要性・重要性に関して理解しているかを評価した。

「特定テーマ等に対する提案」④実施方針や事業手法など事業の方向性決定のプロセスでは、本事業の特性を十分に理解し、留意点等は適切なものとなっているかを評価し、⑤スケジュール管理における留意点及び対応では、スケジュール管理について十分に理解し、留意点等は適切なものとなっているかを評価し、⑥リスクの整理やリスクヘッジについての留意点及び着目点では、リスクについて十分に理解し、留意点等は適切なものとなっているかを評価し、⑦民間事業者との対話手法及び提案の評価手法では、PFI 事業者への提案のさせ方は適切なものとなっているかを評価した。また、⑧追加提案事項では、上記のほか、本市にとって有益となる追加提案があるかを評価した。

「取組意欲」⑨プレゼンテーションでは、作成資料は見やすく、提案内容の説明はわかりやすいか、質問に対する確かな応答を行い、積極的に業務を遂行しようとする姿勢はあるかを評価した。

「見積」⑩提案見積額では、評価基準書で定めたとおり、見積額に対して評価した。

各提案者からは、それぞれの得意とする分野を活かした提案が出され、審査委員からのヒアリング質疑に対しても真摯に応答し、的確な回答をいただくことができ、3者とも本業務を遂行しうる能力を有していると評価した。

審査委員会において、総合評価による最優秀者の特定に至ったが、他の2者の提案についても十分評価できるものであり、甲乙付け難い中、各委員が本施設の必要性・重要性に関して理解しているかなどを考慮し、評価を行った。

(2) 個別講評

【最優秀者】

事業の趣旨・目的に対する理解が深く、地元事業者育成の視点など、伊賀市全体のことを考えた提案であったことが評価された。

質疑に対する回答には、しっかりと内容を理解しており、期待が持てる回答となっていた。

【次点者】

これまでの事業実績経験に基づき、細かく分析を行っており、スケジュールやリスク管理における理解度はかなり深いものが感じられたが、本事業が地域にもたらす期待や波及効果など、観光まちづくりへの落とし込みの面では若干弱いことなどがあげられた。

忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 東 弘久